

はちろうがた

2011年3月定例会 第107号

議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

☎ 018-875-5810

東日本大震災による混乱



◆ 2～3ページ	当初予算
◆ 4～8ページ	一般質問
◆ 9ページ	提出議案
◆ 10ページ	3月定例会補正予算・各常任委員会	
◆ 11ページ	広域組合議会報告
◆ 12ページ	...	請願・陳情／議会のうごき

25億2,367万4千円
19億6,825万3千円

を可決

の町づくり推進



小学校

3月定例会は、3月8日から18日までの11日間にわたり開かれました。
一般質問5名、審議した議案などは、補正予算関係9件、条例改正など6件、当初予算関係9件、人事議案など3件、議員発議3件などでありました。
いずれも原案通り可決されました。

一般会計

歳入

(単位：千円)

科目 \ 区別	予算額	構成比(%)	前年度比
町税	484,619	19.2	△5,265
繰入金	50,725	2.0	49,883
使用料及び手数料	50,448	2.0	132
分担金及び負担金	19,036	0.8	△1,343
財産収入	1,934	0.1	△2,046
諸収入	40,998	1.6	6,320
繰越金	10,393	0.4	2,183
寄附金	3	0.0	0
計	658,156	26.1	49,864
地方譲与税	22,000	0.9	2,500
利子割交付金	900	0.0	△300
配当割交付金	300	0.0	100
株式等譲渡所得割交付金	130	0.0	30
地方消費税交付金	55,000	2.2	2,000
自動車取得税交付金	4,100	0.2	△800
地方特例交付金	10,200	0.4	7,300
普通交付税	1,100,000	43.6	0
特別交付税	100,000	4.0	0
交通安全対策特別交付金	700	0.0	0
国庫支出金	207,947	8.2	11,430
県支出金	194,241	7.7	39,687
臨時財政対策債	170,000	6.7	△57,500
その他の町債	0	0.0	0
計	1,865,518	73.9	4,447
合計	2,523,674	100.0	54,311

歳出

(単位：千円)

区分	予算額	構成比(%)	前年度比
議会費	74,396	3.0	20,117
総務費	312,467	12.4	10,834
民生費	599,203	23.7	25,444
衛生費	334,645	13.3	25,974
労働費	10,388	0.4	344
農林水産業費	118,341	4.7	21,110
商工費	27,197	1.1	△368
土木費	292,107	11.6	△17,532
消防費	155,089	6.1	224
教育費	227,390	9.0	7,409
公債費	369,445	14.6	△39,245
その他	3,006	0.1	0
合計	2,523,674	100.0	54,311

特別会計

(単位：千円)

会計別	予算額	前年度比
国民健康保険特別会計	7億3,879万4千円	△0.4%
後期高齢者医療特別会計	5,454万2千円	△5.3%
公共下水道事業特別会計	2億9,599万4千円	△4.1%
農業集落排水事業特別会計	2,837万7千円	△1.1%
介護保険特別会計		
(保険事業勘定)	6億4,887万5千円	1.2%
(介護サービス事業勘定)	197万8千円	△23.9%

企業会計

上水道事業

(単位：千円)

会計別	予算額	前年度比
・収益的収入	1億4,828万7千円	△1.8%
・収益的支出	1億2,916万8千円	△7.2%
・資本的収入	0千円	0.0%
・資本的支出	7,052万5千円	118.5%

平成23年度 一般会計 特別会計・企業会計

55年バネに協働



中学校

平成23年度の主な事業

(単位：千円)

八郎潟町誕生55周年記念事業	予算額 7,101千円 誕生55周年記念に伴う事業で、NHKのど自慢の開催や町勢要覧作成等の事業を実施します。
子ども手当支給事業	予算額 92,080千円 中学校終了までの児童を対象に1人月額13,000円を支給します。
子宮頸がん等ワクチン接種	予算額 10,557千円 中学1年生から高校1年生(一部2年生含む)までを対象とし、ワクチン接種を実施します。
農業者戸別所得補償制度推進事業	予算額 2,521千円 販売価格が生産費を恒久的に下回っている作物を対象として、その差額を交付します。
農村環境改善センター省エネ改修事業	予算額 30,316千円 地域基金グリーンニューディール基金事業により、太陽光発電導入や窓の二重サッシ化にする等の改修をします。
社会資本整備総合交付金事業	予算額 96,996千円 町道八郎潟線・受取前鳥屋崎線・除雪関係等を合わせて実施します。
小中学校パソコン更新事業	予算額 5,112千円 小中学校のパソコンを更新するものです。
弁天球場観客席手すり等改修事業	予算額 3,000千円 弁天球場観客席の手すり等を改修します。
住民に光をそそぐ交付金事業	<p>予算額 10,238千円 平成22年度で積立をした、住民に光をそそぐ交付金を取り崩し、2カ年に亘って3つの事業を実施します。</p> <p>①地域福祉協力員設置人材育成事業 ②高齢者体力向上活動対策員育成事業 ③地域力向上事業</p>
少子化対策包括交付金事業	<p>予算額 5,300千円 少子化対策に取り組む市町村をサポートするための交付金で、市町村が、独自に取り組む事業に交付されます。</p> <p>①結婚祝い金事業 ②中央児童館異年齢交流事業 ③こども遊び場遊具整備事業 ④幼稚園預かり保育事業 ⑤中羽立公園管理棟改修事業</p>
緊急雇用創出事業交付金活用事業	<p>①食育計画推進事業 ②火災警報器設置推進事業</p> <p>予算額 21,838千円 ③雇用対策事業(高岳山麓浦城整備他) ④特別支援生活サポーター設置事業(小学校運営) ⑤特別支援生活サポーター設置事業(幼稚園運営)</p>

一般質問

TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)は、八郎潟町民を幸せにするか。



北嶋 賢子
議員

問 TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)は、八郎潟町民を幸せにするか。 TPPに関しては、

請願書の採択や議会でも反対の意見書を提出している。実施された場合、八郎潟町への影響試算は、

町長 本町農業への影響試算は、平成21年度JA出荷ベースで9割減の約5億8千5百万円が減少する見込み。商店やスーパー等の売り上げの激減。各事業所の雇用の縮小。若年層の流出等。町の経済に多大な打撃を被る。

昨年12月、全国町村長大会に於いて、TPPへの参加について協議され、反対の決議が採択された。

国民健康保険税の引き下げを

問 国民健康保険税の引き下げを、国の指導は国民健康保険特別会計に町独自の繰入れをするな、

と言っています。繰越金、基金、及び臨時財政対策債から、一世帯一百万円の引き下げが出来ないか。国保事業の健全運営の近道は町民の懐を豊かにする事に尽きると思う。

万円下げるとなると、1040万円必要となる。収入の少ない世帯の均等割は平均割、2・5・7割と段階的な軽減をしている。一律な軽減は考えてない。本町の場合国のいう、町独自の繰越金はない。

湖東病院の現状と総合病院再建の進捗は

問 地域で黄色のポストターが目に入ります。湖東病院の現状と総合病院再建の進捗は。

町長 12月から入院病床休止。総合病院としての機能を喪失。救急搬送と受診者が増加した秋田組

合総合病院。搬送時間の延長で身体的負担も多いと聞いている。事態の要因は、医師不足にあり、県は平成23年度から、地域医療を志す、若手医師に魅力ある専門研修課程を設ける事で湖東総合病院の医師確保につなげる事を開始する。指導医を招へいし組合病院と湖東病院を研修拠点とした総合診療課程医を養成する。

湖東病院を守ろう!

私たちにとってなくてはならない「湖東病院」を「湖東病院を守る住民の会」では、以下のようなお仕事を関係機関に働きかけています

基本は・・・

- ☆計画どおりに病院建設を
- ☆医師確保で安定的な医療を

さしあたり・・・

- ☆応援医師による病院機能の維持を
- ☆緊急時に対応するシステムづくりを

将来に向けて・・・

- ☆病院は地域づくりの一環
- ☆医療を支えるために住民も勉強を

湖東病院を守る住民の会

地デジへの完全移行について

問 地デジへの完全移行について。テレビ難民を出さない様に支援を。

専門研修プログラムを作成し、平成24年度以降、毎年約5名の研修医を受け入れる。3月には県外医師に向け、医師確保のために作成した(P.Rチラス)を配信する。南秋地域には、住民からの医

町長 7月24日でアナログ放送が終了する。町では支援をしてないが、国の総務省で支援をしている。条件は、世帯全員が市町村民税非課税の措置を受けている世帯が対象。NHKと放送受信契約を結んでいる事。



師情報の提供。地元には(P.Rチラス)を全戸配布した。厚生連が早期に着手するには、医師確保にある程度の見込みが必要であり、地元としても力を尽くす。

制度の周知は、町の3月広報に掲載。申し込み用紙は総務課にある。

一般質問

23年度一般会計予算の 重点的な政策は



金 一義
議員

問 今年度の、我が町の重点的政策はどのような立案で住民にアピールできる予算執行になっておるか。その内容は、公債比率の数値も大事ですがこの閉塞感の漂っている町に活力のある政策を示せ。

町長 改善センター改修工事、保健センター改修工事、町、誕生55周年記念NHKのご自慢等の開催。

問 役場の機構改革について現在の4課7班体制も行政改革として取り組んだ経緯でありましたが、なにが弊害で、デメリットはどのようなもので今回の機構改革にいたったのか、今度の機構改革は、課長職が増えるようですが、今後人件費増に結びつかないのか、またこの改革によるメリットはなんで、どのような町民サービスを考えているかお示しください。

町長 対外的には、弊害、デメリットもありません。管理職が多く職員の把握が困難、人件費の増減には結びつかない。

農業政策について

問 農業所得の増加を図る目的に八郎潟ブランド米と位置づけ

している「八郎潟環境保全米」について。

現在の会員は12名で作付面積は2ヘクタールとあります。今年度はこの制度に加入する農家は、どのようになっているか。面積が拡大されても販路の見込みがなされているか、お答え下さい。

町長 JAあきた湖東との連携をとりながらこの計画を進めるとありますが、現在までJA湖東との間にどのような連携をなされているかお知らせ下さい。

またこのお米を栽培された場合の農家所得がどのくらい増えるかお示しください。

町長 今年は、3名の方が脱会し9名で1.85ヘクタールの面積で栽培する。JAあきた湖東との連携はありません。

問 我が町も例にもれず、農業従事者も年々高齢化になってきております。町長は集落営農組織づくりの目標を10組織としておりましたが、目標としていた団体数になつていないか、もし、その数値になつていないとすれば障害とされる原因はなにか。

町長 現在4組織が結成されており、増えておりません。

問 これからの、農業事情を取り巻く環境をみると最近6次産業を取りざたされていますが、行政としてその構想ももっているか。

町長 構想があるとすればどのようなものを計画されておるか。現時点での町としての

構想はありません。

商工振興について

問 公約にあります、中小企業退職共済掛金の一部を負担し雇用の安定を図るとありますが、その実現はどのようになっているか。零細企業の雇用安定のためにも実現を望みます。

町長 町としても、雇用促進を後押しするべく検討を進めて行く。

問 商店街賑わい創出のため「八郎潟おもしろ市場」について

21年度は2回、22年度は6回開催しましたが、その反省と結果はどうか。少子化対策包括交付金事業の一環としての支援事業ですが、町が想定していた実りあるものになっているか。その結果を示せ。

町長 昨年度は6回の開催でしたが、今年度は2回の計画です。賑わい創出の一助にはなつたと思えます。

問 町単独でのプレミアム付き商品券発行事業について

地域経済の活性化を目指し地域経済情勢を踏まえ商工業等を支援するために町の賑わいと、高齢者、交通弱者の買物と消費者の町外流出を少なくするためにプレミアム付き商品券を町単独での発行をその考えを示せ。

町長 考えていません。

町の、職員数、議会議員数をどうとらえているか。

問 行政改革を地域の重要課題として、職員数、議会議員数をどのようにとらえているか考えをお示しください、とのアンケート調査があり昨年12月の魁新報に県内首長アンケートの結果が報道されました。その結果によると無回答とあります。その考えをお答え下さい。

町長 アンケートには答えています。

住民に光をそそぐ交付金実施計画について

問 地域福祉協力員人材育成事業

地域の一人暮らしの早期解決を図るとあるが、早期解決とは何を指すのかまた該当する人数は何人になっているか。福祉協力員の人数は、その選考方法は、またその責任「活動時間」等の度合いはどの様になっているか。

町長 迅速な地域情報の把握、50世帯に1人の割合で「地域福祉協力員」45名を配置し、悩み等の解決を図る。

問 高齢者体力向上活動対策員育成事業
高齢者体力向上活動対策員育成に伴う人件費とありますが、

米軍基地訓練受け入れ要請に対する意思について

問 普天間問題から端を発した基地問題のアンケート結果が、11月24日の新聞に報道され、その首長アンケートに対する沖縄県に集中している米軍基地や訓練の移転を政府から、我が町に要請された場合の意思確認の問いに町長は、注釈をつけながらも検討の意思が「ある」としたその真意は。

町長 新聞報道の通りです。

どのような方が対策員になり育成期間はどのくらいで、どのような機関で育成するのか。

町長 介護予防運動指導員、介護認定調査員の2名の方で行う。

問 協働による安全、安心地域作り事業
講演活動や啓発活動に要する費用として、今年度分として165万円を予算化しておりますが、賃金、講師謝礼、旅費消耗品等とありますが、講演を何回予定し、一回の謝礼を幾らと見ている、その他の費用はいくらくらいか示して下さい。

町長 講師には15万円と旅費講演参加者に粗品進呈、賃金としては、補助事務その他を考慮される。

一般質問

2011年度当初予算について



伊藤 秋雄
議員

問

①二〇一一年度予算編成で歳入の確保、歳出はどこを削減し査定のポイントは。②雇用の場がなく景気の低迷や高齢化米の下落で町税の落ち込みが予想される。

③町制施行55周年記念事業でNHK「全国のご自慢大会」が本町で開催、町民に観覧させる準備、対策は。

④全国で59市町村に子ども手当の地方負担を拒否する自治体の動きが広がっている。年度内に予算関連法案などが採決されない場合、子ども手当に代わり所得制限の児童手当が導入された時。

町長

①健全財政を堅持しながら財政運営をする。事業効果無駄がないか個別事業について詳細に査定をしている。

②農業所得の減収が予想される。大口滞納者30人に対し秋田県地方税滞納

整理機構への引き継ぎ予告通知書を送付したところ15人が自主納付し86万5千円納付。

③10月30日八郎潟町民体育館で開催される。会場

仮設ステージ設営費157万5千円照明など設置委託料98万2千円計上。

④一人当たり1万3千円のべ7083人。920

7万9千円を計上。国、県だけでなく町も一部負担。制度に従って進めていく。

失われた景観

問 平成12年頃、秋田自動車道のため町内を2つに割って馬場目川の上に高架橋がかかり昔の美しい景観が失われコンクリ

ての風景が破壊されている。当局は東北電力の関係者に対し無条件で承諾したのか。

①国道7号線から川崎地区の町道の改良工事を考えているか。自転車歩行者専用道路の改良や危険箇所のある車道の拡張は。

②本町はコンクリが多く地下埋設にするか街灯を設

置するなどの要望が必要と思う。

町長

①道路法の基準に適合しているので許可している。将来の拡張工事については本線車道の調査を実施してから。②東北電力単独の地下埋設は鉄道下、高速道路の下などに限られる。今後同様の案件があった場合は道路計画や街灯設置、景観なども含め事業者と調整を図る。

少子化に歯止めを

問 ①少子化の進行に歯止めをかけるために、県や周辺の町村と連絡を取り、結婚支援に取り組む考えはあるか。

②10〜20年後を考えた場合、総合的な少子化対策が必要だと思いが構想は。

③若者の定住促進。結婚し、子供を育てる環境づくりについて④本町の出

生率の目標は⑤第5次基本構想は今年で6年目。商店街の再生支援、雇用の場が広がる環境づくり、では企業用地のほか優遇

制度を整えるなど企業進出意欲を高める施策を講じるとあるが。

町長

①②③昨年秋から秋田結婚支援センターを立ち上げている。希望者は1万円会費で入会できる。未婚男女がこの会に登録し秋田県全体で進めていくことが効果的である。結婚し本町に定住する方に祝い金を贈っている働くお母さんのために保育園を支援し待機児童はゼロである。子育ての悩みについては「地域子育て支援センター」を八郎潟保育園に置き対応している。④出生目標は定めていない。⑤空き店舗が増えているがそれぞれ独自性をもって経営努力している。今後、商工会、商店会と話し合い、国と県の補助事業に取り組むための支援をしたい。

不透明な湖東総合病院改築

問

①総合診療・家庭医(仮称)の養成を開始。最初の2年間は秋田組合総合病院、後の1年間は

湖東総合病院に勤務し主に外来と在宅診療を行う。常勤医5名。事業開始3年目で研修医5名、指導医1名とあるがこの3年間で大きく状況が変わるのではないかと心配である。②井川町の町長がインタビューで将来、県立病院化も含めた大規模な改革が必要と発言していたことに対して。③今後の湖東総合病院の見直し、入院患者を受け入れ可能にするためには。

町長

①若手医師にとつて研修プログラムは魅力的であり、研修指導医の力量に期待する。医師が働きやすい環境づくりを行いたい。②答えは差し控えたい。③医療確保の見通しが立つことが湖東総合病院改築のカギとなることから、見通しがどの程度で厚生連を動かすことができるかが非常に重要であり、県、厚生連への働きかけも重要な要素となる。地元としても受け入れ態勢に力を尽くす。

一般質問

町発展のために マーケティング力の強化を



畠山 金美
議員

問 振興策にいくら税金を投入しても、それを生かす知恵をため込んでい

かない限り、これからも同じことの繰り返しになるのではないかと。このマーケティングの知識不足のせいで、補助金ありきの第1歩で終わってしまいうケースがあるとすれば、それは大きな損失であり、なかでも人材能力の自信喪失がもっとも恐れるところ。

このままだと、やるべき事も分からず、町民力がどんどん低下していくことが目に見えている。そこで、年間を通して専門家を招へいし、官、農・商・工と一緒にマーケティングの研修と研究を繰り返し行い、実際の事例を検証、修正を加えながら応用方法を学び、各分野ともにスキルを向上させていくための予算投入という考えはないか。

町長 わが町の産業を取り巻く状況は非常に厳しく、これらへの対応は早急の課題である。確かに、生産活動を行う上でマーケティング力も重要な要素であるが、それだけで町の産業が好転するものではない。町としては、今後も意欲ある商店、農家等の為に商工会、JAと連携しながら支援して参りたい。公費をいくら投入しても、それを生かす知恵と力が備わっていないければ無駄になる。しかし、すべて予算投入して役場で行うことが得策とは思っていない。

除雪対策の問題 点と今後の対応 について

問 これからの除雪対策への取り組みについては、超高齢化という過去に経験のない社会での関心事のひとつである。そこで

1. 発生した事案は
2. 町民からの要望は
3. 行政としての反省点と解決策は
4. 委託業者との協議内容

答 内容は関連質問

・川からの吸水が必要な時に、サイクリングロードにポンプ車が入る事が難しいのでは。
・小型ロータリー除雪車の稼働実績と今後の活用方針については、
・除雪機の導入は

町長 町道57キロメートルを委託業者6社と直営5社で除雪。排雪場所が混乱するなどの事例もあったが、次年度は路線状況の確認や業者間の引き継ぎを徹底させる。

除雪時間帯を遅く、という要望もあるが、通勤通学時間の関係で除雪終了

時間を午前7時に設定している為、作業工程上やむを得ない場合もある。除雪ドーザーでの除雪が困難な路線については、積極的に小型ロータリー除雪車で除雪することとし、委託業者、直営オペレーター全員が操作できるように講習会も実施。小型除雪ロータリー車と大型ロータリー除雪車、運搬車を組み合わせた排雪作業を行っている。

サイクリングロードの除雪については、消防ポンプそのものは運搬可能なので、考えていない。除雪機は高齢化社会にむけて、町内会で要望があればこれから検討するが、危険な機械であるので検討課題である。



小型ロータリー除雪車・小型除雪機



一般質問

水道管耐震化への予算規模について



菊地 文人
議員

問 「秋田県内の上水道耐震化率が低水準にとどまっている」との報道。県内市町村20事業の耐震化率が全国平均を下回っ

ているが、本町の耐震化率は何%か。また強度面・耐衝撃性で劣る石綿(アスベスト)セメント管については町中の管路全体で何%存在するのか。耐震化を考えるならば、強度に富んだダクタイル鑄鉄管などへの切り替えが必要。水道は、住民生活を支える大切なライフ

ラインの一つであるため、大規模災害に耐えられる水の供給体制の構築は危機管理においても重要な課題であり、早急に耐震化などの状況を把握して改善を図るべきでは。厚労省では04年に、水道の現状と将来見通しを分析・評価し、今後の国の水道のあるべき姿についての「水道ビジョン」を作成し、公表。13年度までに耐震化率100%を目指す

が、本町における率100%実現のための具体的な施策や工程表、予算規模は。

また、経産省は「買い物弱者応援マニュアル」を公表。取り組みとして、「身近な場所に店舗をつくる」「家まで商品を届ける」「外出しやすくする(送迎)」の3つに分類し、参考事例を示めた。本町においてもすでに発生している可能性は否定できない。何らかの支援策に関し、商工会や地元商店街と協議する場をもうけるべきでは。地域の店と高齢者らの結びつきを再構築し、地域全体で高齢者らの生活基盤を支援する仕組みづくりの検討を。



八郎潟町浄水場

町長 耐震化率は92.4%。7.6%が石綿セメント管で、3.7kmあり予算規模は約3.7億円と推計。H23年度からの第5次基本計画で事業着手に向けた検討を始める。

高齢者などの 買い物支援について

問 「近所のスーパーや商店が閉店し、車がないと大型店に行く事も出来ない・・・」この一年あ

まりで、高齢者などが日々の買い物に困る「買い物難民」などと呼ばれる人たちの問題が大きくなってきた。その背景には、中心街の空洞化や人口減などによる商店街やスーパーの撤退など様々な要因が絡み合い、全国で「600万人程度」と推計し、現在さらには増えていることが確実。秋田市のアンケート調査によると、「徒歩圏内に行きたいがお店がない」33.5%、「家族の協力ができないと行きたい時に買い物ができない」23.6%などと特に高齢者単身世帯ケースで、買い物をするのが大変な重労働となり得ると理解ができる結果となった。対応策として県内では民間による宅配事業・出前商店街などが始まっている。県では、県内の買い物支援者を6万4千人と推定しており、11年度から3箇所程度をモデル地区に指定しその地域に適した支援のあり方を探る予定で、安否確認など生活支援の取り組みを並行して行い12年度以降、モデル

町長 来年度国の事業を活用した高齢者ニーズ調査を検討中で、この結果を受けて高齢者生活基盤の支援に何が必要かを考えたい。



平成23年

八郎潟町議会 3 月定例会提出議案

議案番号	審 議 案 件	結 果	議案番号	審 議 案 件	結 果
議案第1号	平成22年度八郎潟町一般会計補正予算(第5号)について	原案可決	議案第16号	平成23年度八郎潟町一般会計予算について	原案可決
議案第2号	平成22年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	原案可決	議案第17号	平成23年度八郎潟町国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第3号	平成22年度八郎潟町老人保健(医療)特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	議案第18号	平成23年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第4号	平成22年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決	議案第19号	平成23年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れについて	原案可決
議案第5号	平成22年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決	議案第20号	平成23年度八郎潟町公共下水道事業特別会計予算について	原案可決
議案第6号	平成22年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決	議案第21号	平成23年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計への繰り入れについて	原案可決
議案第7号	平成22年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	議案第22号	平成23年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第8号	平成22年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算(第5号)について	原案可決	議案第23号	平成23年度八郎潟町介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第9号	平成22年度八郎潟町上水道と区別会計補正予算(第5号)について	原案可決	議案第24号	平成23年度八郎潟町上水道特別会計予算について	原案可決
議案第10号	秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更について	原案可決	議案第25号	湖東地区行政一部事務組合議会議員の選任について	三戸留吉 原案同意
議案第11号	八郎潟町課設置条例の全部を改正する条例について	原案可決	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	小川文子 原案同意
議案第12号	八郎潟町一般職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める事について	畠山誠夫 原案同意
議案第13号	八郎潟町手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決			
議案第14号	八郎潟町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について	原案可決			
議案第15号	町道路線の認定について	原案可決			

議員発議 (可決)

●八郎潟町議会委員会条例の一部を改正する条例について

町の機構改革に伴い、現在の町長部局が3課6班体制から6課体制に見直しされたため、本委員会条例においても関係条項を改正したものである。

●特別委員会の設置について

地方分権の時代にふさわしい議会の在り方・議会活性化の観点から、議会基本条例の制定など当面する課題について調査研究し、議会運営の見直しを進めるため、議会改革特別委員会を設置することがまりました。町民の意向も踏まえながら進められます。期間はおおむね1年ほどとしています。

委員長 三戸留吉 議員 副委員長 村井剛 議員

●八郎潟町の災害対策に関する決議について

東日本大震災は想像をはるかに超え、歴史的未曾有の大災害となりました。

困難な災害予測の中で、私たちの町でも可能なものについては早急に対策を講じ、今後に備えることが大切です。次の事項の実施について全議員の一致した意思が町長に提出されました。

・決議事項

1. 浄水場に停電時対応の発電機を備え付けること。
1. 浦大町貯水タンクまでの石綿管交換の早期実現をめざすこと。
1. 災害時緊急対応備品、物品の備え付けと一定数量の確保。
(石油ストーブ 毛布など防寒具 保存食 懐中電灯 ローソクなど)
1. 自主防災組織(町内会と兼ねる等)の意識を高めるための実働訓練の実施。
1. 災害時対応簡易マニュアルの作成配布。(避難所、避難広場などのマップ付)
1. 地震のみならず風雪水災害の際の対策本部など構成団体等の見直し、指揮系統が速やかに発動できる体制の確認等。
(特に消防団組織との情報の共有化と連携強化) (議長を入れ議会との情報の疎通に務めること)

3月定例会 補正予算

一般会計及び6特別会計補正予算は原案どおり可決されました。

一般会計について

主な内容（歳入歳出の額は一致しません）
歳入歳出に4億8千715万6千円を追加
総額33億801万8千円

○歳入

地方特例交付金	721万5千円
地方交付税	2億8千171万2千円
地域活性化、きめ細かな交付金・住民生活に光をそそぐ交付金(国)	5千134万3千円
前年度繰越金	1億3千59万2千円
市町村振興助成金	591万5千円

○歳出

財政調整基金	4億5千62万6千円
減債基金	3千795万6千円
地域福祉基金(住民生活に光をそそぐ交付金)	2千245万1千円
きめ細かな交付金事業関係(次年度へ繰越し事業実施)	3千511万9千円
保健センター改修工事 小学校カーテン取替 幼稚園公共下水接続工事 町民体育館吸水管敷設替工事 上水道原水薬品攪拌機更新・配水池外壁修繕工事費補助金 川崎多目的共同利用施設改修事業 公用車車庫改修事業	

各常任委員会の審議

総務教育 常任委員会

問 「八郎潟町課設置条例の全部を改正する条例について」の課を増やす事により、管理職給与の増があるのか。

答 管理職は増えるが、給与増とならないように管理職の給与に幅をもたせるため、級別標準職務表を改正した。

問 教育方針での小・中一貫校について、10年後1学年1学級を見通した構想だが、2学級になる場合もあるのでは。計画の前倒しもありきか。

答 児童生徒数について、出生数・転入・転出により変化し、1学年2学級となる事は現実的にある。前倒しについては、状況を見極め実施したいと考えている。

問 改善センター省エネ改修工事について。

答 太陽年数20年の太陽光発電パネルの設置、館内電球を全てLEDに、館内の窓全てをペアガラスにし省エネを図り、必要な電力を確保する計画。

民生産業 常任委員会

問 除雪の出動は5cmではなく10cmにしてもらいたい。燃料費も高くなっている。除雪路線については同じオペレーターでなければ危険箇所がわか

問 改善センター省エネ改修工事について。

らない。

答 今後開かれる除雪会議で話し合う

問 ブラックバスのリリース禁止により人が来なくなつた。解禁するため町からも要望してほしい。特区申請の場合どのような事務手続きがあるのか。また、うたせ館閉館のうわさがあったが、年間どのくらい人がきているのか。

答 半年で300人位。一日1〜2人。

問 災害対策費で東京ま

での職員研修旅費があるが、研修内容を町民に説明し、フィードバックするようなのはしないのか。

答 地域に出かけて行ってフィードバックしたいと考えている。

問 危機管理体制では防災センター



グラウンドゴルフ場拡張工事 現場視察



町営住宅の外壁状況 現場視察

が拠点である。毛布は50人分用意していたが、50人分の食糧等も準備してもらいたい。

問 今回の震災で食糧の備蓄、炊き出しの動員方法、水の確保、毛布等色々考えられました。町民も訓練が必要と思つた。

問 火災報知機設置推進員賃金とあるがどういった人があたるのか。

答 財源は国庫予算で緊急雇用対策で10割補助で対応する。元消防署員を適任と考えている。

* 広域組合議会報告

湖東地区行政 一部事務組合 議会定例会

3月22日定例議会を開
催し、次の議案を全会一
致で可決しました。

○平成23年度一般会計予算

歳入・歳出

5億3千541万6千円
(前年度6・07%の減)

歳入の概要

〈構成市町の負担金〉

八郎潟町

1億4千125万8千円

井川町

1億2千50万7千円

潟上市

2億6千532万8千円

その他

832万8千円

歳出の概要

議会費

75万1千円

総務費

3千346万5千円

衛生費 1千959万4千円
消防費 4億7千351万4千円
公債費 729万2千円
予備費 80万円
となっておりあります。

八郎湖周辺 清掃事務組合 議会定例会

3月23日定例議会を開
催し、次の議案を全会一
致で可決しました。

○平成23年度一般会計予算

歳入・歳出

4億7千993万6千円
(前年度比42・2%増)

歳入の概要

〈構成市町の負担金等〉

八郎潟町

4千268万2千円

五城目町

6千233万9千円

井川町 3千831万9千円
大潟村 2千823万円
男鹿市 2億6千976万1千円
その他 3千860万8千円

歳出の概要

議会費 39万3千円

総務費

4千56万6千円

衛生費

2億7千212万2千円

公債費

1億6千585万5千円

予備費

100万円

となっておりあります。

八郎潟町・井川町 衛生処理施設組合 議会定例会

3月25日定例議会を開
催し、次の議案を全会一
致で可決しました。

○平成23年度一般会計予算

歳入・歳出

8千21万5千円
(前年度比12%増)

歳入の概要

〈構成市町の負担金等〉

八郎潟町

4千835万9千円

(うち交付税分189万

1千円)

井川町

2千996万5千円

歳出の概要

議会費 21万8千円

総務費

1千268万1千円

衛生費

4千728万4千円

公債費

1千903万2千円

予備費

100万円

となっておりあります。

地域活性化臨時交付金の 活用計画について説明

2月10日、午前10時から議会全員協議会が開かれ、
国からの地域活性化のため交付される補助金の、
本町における事業実施について説明がありました。

内訳は

①きめ細かな交付金(22年度3月補正で対応)

交付額 2千889万2千円

事業費 3千511万9千円

・主な事業

保健センター改修

浄水場機械更新・配水池の修繕補助

川崎多目的施設改修など

②住民に光をそそぐ交付金

(22年度3月補正で基金へ)

(23年度と24年度で事業実施)

交付額 2千245万1千円

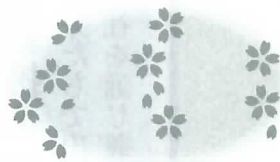
事業費 同額

・主な事業

地域福祉協力員設置人材育成事業

高齢者体力向上活動対策員育成事業

協働による安全・安心地域づくり事業



■ 請願・陳情

受理番号	件名	住所	氏名	件名	付託委員会	本会議結果
1	陳情	秋田市	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 秋田県中央地域労働組合総連合 議長 今野 剛	最低賃金の大幅引き上げと、中小企業支援の拡充を求める陳情書	民生産業	採択
2	陳情	秋田市	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章 秋田県中央地域労働組合総連合 議長 今野 剛	労働者派遣法の早期抜本改正と雇用の安定を求める陳情書	民生産業	採択
3	陳情	八郎瀧町	全日本年金者組合秋田県本部 湖東支部 支部長 土橋 茂	2011年度年金引き下げの撤回と無年金・低年金者に緊急措置を求める陳情	民生産業	不採択



議会のうごき

1月

- 4日 消防出初め式
- 8日 湖東3町商工会新春賀詞交歓会
- 17日 例月出納検査
- 22日 グランドゴルフ協会総会
- 28日 南秋田郡町村議会正副議長事務局職員合同研修会

2月

- 5日 合同厄祓・還暦祝
- 10日 議会全員協議会
- 14日 後期高齢者広域連合議会
- 18日 例月出納検査
- 24日 県町村議会議長会理事会・表彰式

3月

- 1日 議会運営委員会・広報編集委員会 湖東総合病院改築推進協議会
- 8日 定例会
- 10日 中学校卒業式 本会議
- 15日 小学校卒業式
- 16日 幼稚園卒園式
- 18日 定例会最終日
- 22日 湖東地区行政一部事務組合会議
- 23日 例月出納検査 八郎湖周辺清掃事務組合
- 24日 広報編集委員会 南秋田郡町村議会議長連絡協議会定期総会
- 25日 八郎瀧町・井川町衛生処理施設組合議会
- 26日 町民座談会 保育園卒園式
- 28日 広報編集委員会

東日本大震災救援義援金について
3月15日、私たち議員は、自分たちで出来ることとして、被災地支援のため、日本赤十字社を通じ義援金を送りました。

未曾有の大災害に被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。
昨年11月末に、陸前高田市で、東北農林運動連合会の会議がありました。宿泊したホテル、キャピタル千、だけがポツンと残り周囲の直売所等は、津波で跡かたもなくなりました。

原子力発電所の事故により、やむなく故郷を後にされた皆様は安全宣言の出されるまで他の地で頑張る事となると思います。あたりまえの、なんでもない日常が、早くもどつて来ますように。私たちに出来る事を協力したいと思います。(けん子)

◆議会広報編集委員会

- 委員長 北嶋 賢子
- 副委員長 菊地 文人
- 委員 近藤 美喜雄
- 委員 山金 美廣
- 委員 小野 留吉

編集後記